

1. 健康経営とコロナ禍の影響

- ・「健康経営優良法人認定制度」の取得は2000年代に入って増え、約4割に。
- ・コロナ禍で、テレワークの導入が促進。4割が「十分に対応できている」と回答
- ・約5割が「従業員間のコミュニケーション」に障害を感じていた。
- ・健康セミナーの実施が4割で、テーマ別では「食事と運動」が増えた。
- ・健康相談、保健指導も約6割に増加。

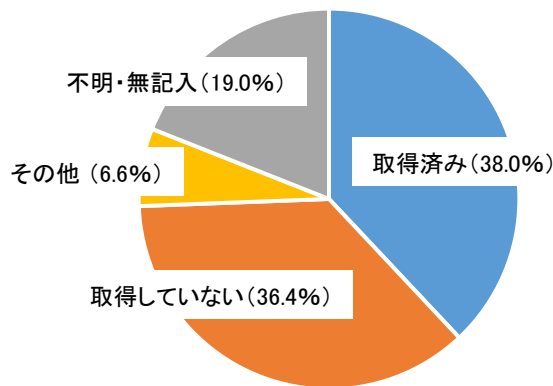
◆健康経営

経済産業省が制度設計した優良な健康経営を実践している法人を顕彰する「健康経営優良法人認定制度」の取得について尋ねました。回答した121社のうち、「取得済み」が46社(38.0%)、「取得していない」が44社(36.4%)、ほかは「その他」「不明・無記入」でした。

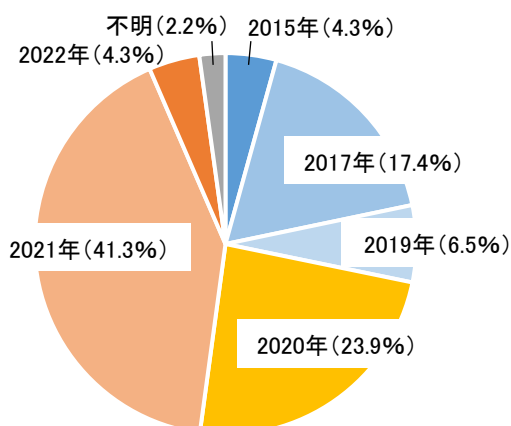
「取得済み」の46社の取得年は、2015～2019年は2～8社と、一桁(20%以下)だったのに対し、2020年は11社(23.9%)、2021年には19社(41.3%)と、2020年代に入って増えていました。2022年も2月16日時点で2社取得していました。「取得していない」企業44社のうち「2022年度の取得をめざす」との回答は13社(29.5%)でした。

また、健康経営優良法人の認定取得の有無にかかわらず、80社(66.1%)が、会社としての社員の健康に関する方針を表明していました。

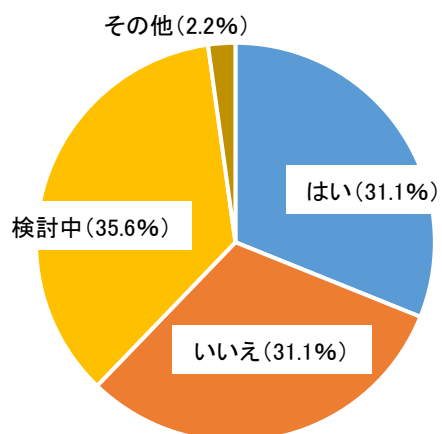
健康経営優良法人の認定を取得していますか。(n=121)



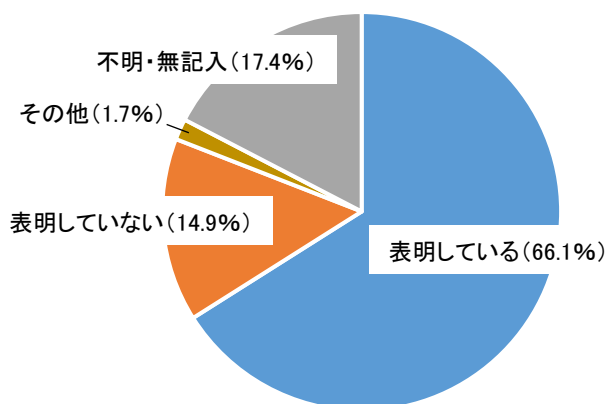
「健康経営優良法人の認定を取得している」とお答えの方へ。取得年をご記入ください。(n=46)



「健康経営優良法人の認定を取得していない」とお答えの方へ。2022年度の取得をめざしますか。(n=44)



会社(経営層)として、社員の健康に関する方針を表明していますか。(n=121)



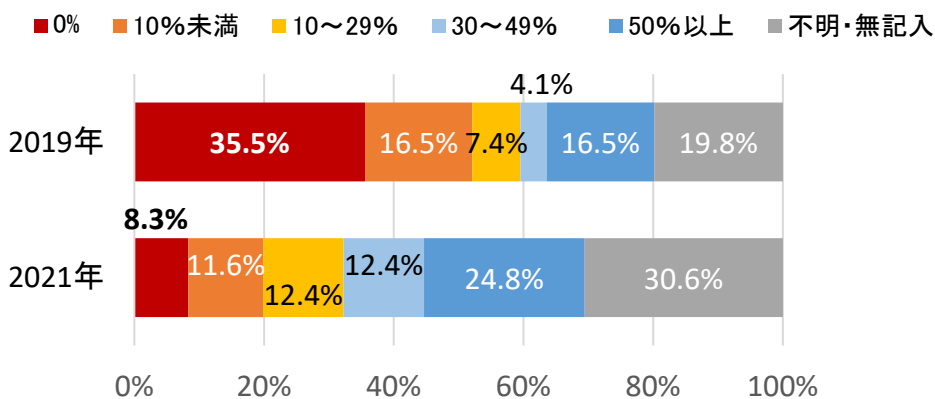
◆コロナ禍の働き方への影響

コロナ前の2019年には、テレワークを導入していない「テレワークの割合:0%」が43社(35.5%)でしたが、コロナ禍の2021年は10社(8.3%)にまで減少、「10%未満」も20社(16.5%)→14社(11.6%)に減っていました。

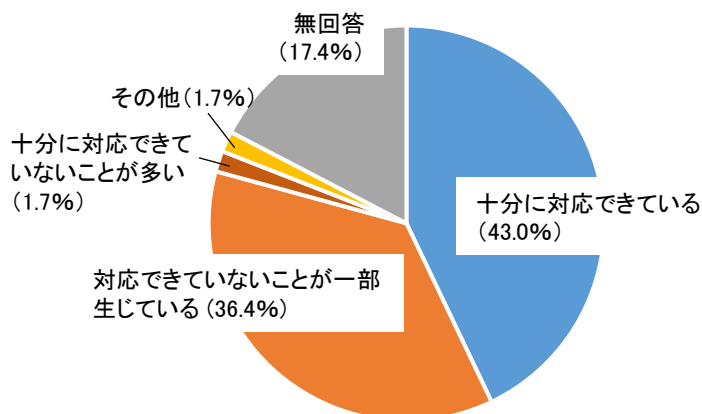
逆に導入割合が高い「30~49%」「50%以上」では、それぞれ5社(4.1%)→15社(12.4%)、20社(16.5%)→30社(24.8%)に増えていました。

2021年の勤務制度の下でコロナ禍で業務に支障が出たかを尋ねたところ、52社(43.0%)が「十分に対応できている」と回答。「対応できないことが一部生じている」44社(36.4%)と「十分に対応できていないことが多い」2社(1.7%)を合わせた「対応に支障が生じている」企業の46社(38.1%)を上回りました。

2019年と2021年のテレワークの割合について (n=121)



2021年の勤務制度の下、コロナ禍で業務に支障が生じていますか。(n=121)



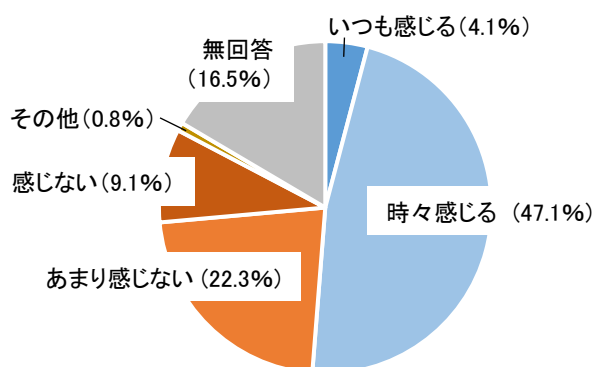
◆従業員間のコミュニケーション

「社員間のコミュニケーションに障害を感じるかどうか」を尋ねた結果、「いつも感じる」の5社(4.1%)と、「時々感じる」の57社(47.1%)を合わせると62社(51.2%)が障害を感じていました。「感じない」は11社(9.1%)、「あまり感じない」は27社(22.3%)でした。

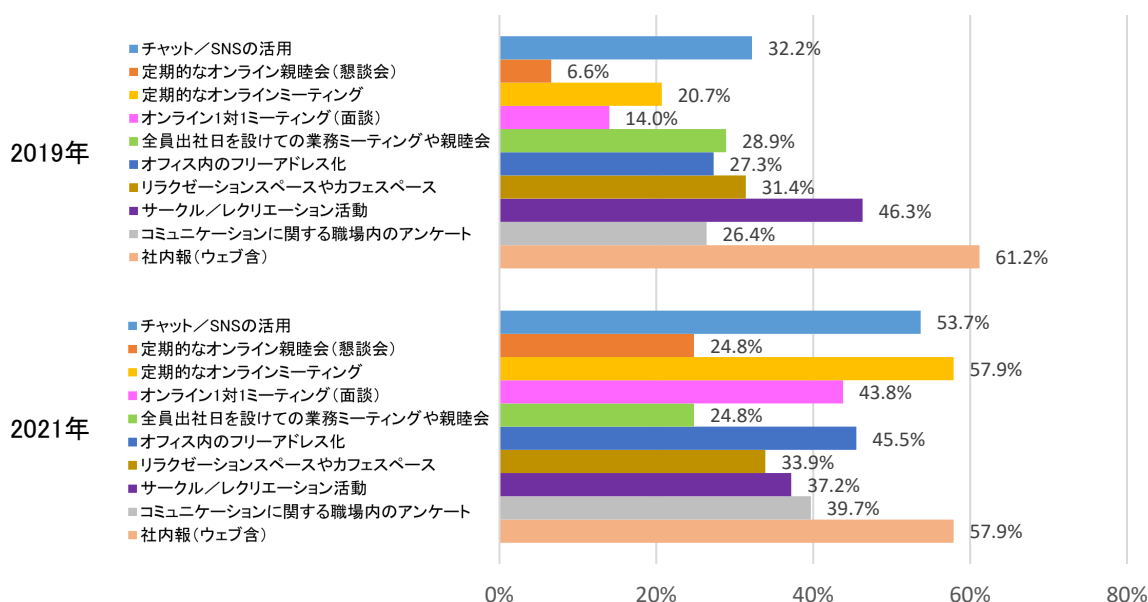
定期的なオンラインミーティングは2019年の25社(20.7%)から2021年は70社(57.9%)と3倍近くになっていました。定期的なオンライン懇親会(懇談会)も8社(6.6%)から30社(24.8%)に増加、チャット/SNSの活用も39社(32.2%)から65社(53.7%)に、オンラインによる1対1のミーティング(面談)も17社(14.0%)社から53社(43.8%)に、それぞれ増えていました。

社員間のコミュニケーションの障害に対応できているかどうかを尋ねたところ、「十分に対応できている」が34社(28.1%)、「対応できていないことが一部生じている」は59社(48.8%)でしたが、「十分に対応できていないことが多い」も7社(5.8%)ありました。

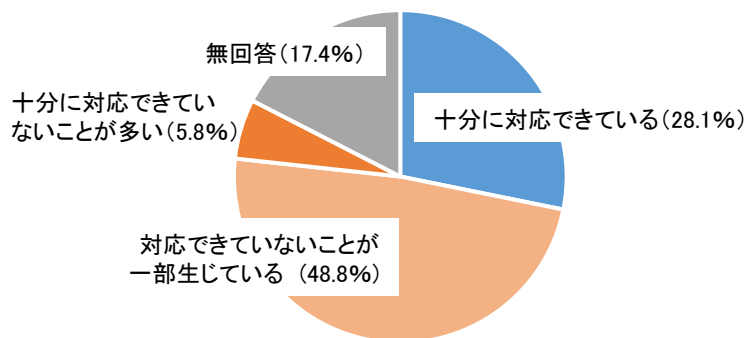
社員間のコミュニケーションについてお尋ねします。
現状で社員間のコミュニケーションに障害を感じますか。(n=121)



社員間のコミュニケーションを図る取り組みを整備されていましたか。
2019年と2021年、それぞれあてはまるものすべてお選びください。(n=121)



コロナ禍でも現在の社員間のコミュニケーションを図る取り組みで対応できていますか。(n=121)



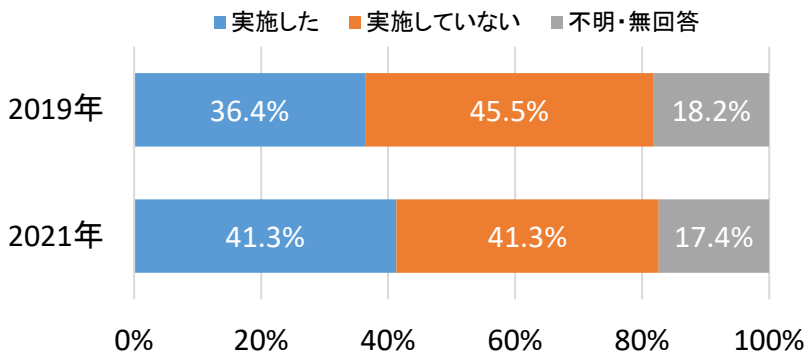
◆健康セミナー

健康セミナーを「実施した」企業は、2019年の44社(36.4%)から2021年に50社(41.3%)に増加、「実施していない」企業は55社(45.5%)から50社(41.3%)に減っていました。

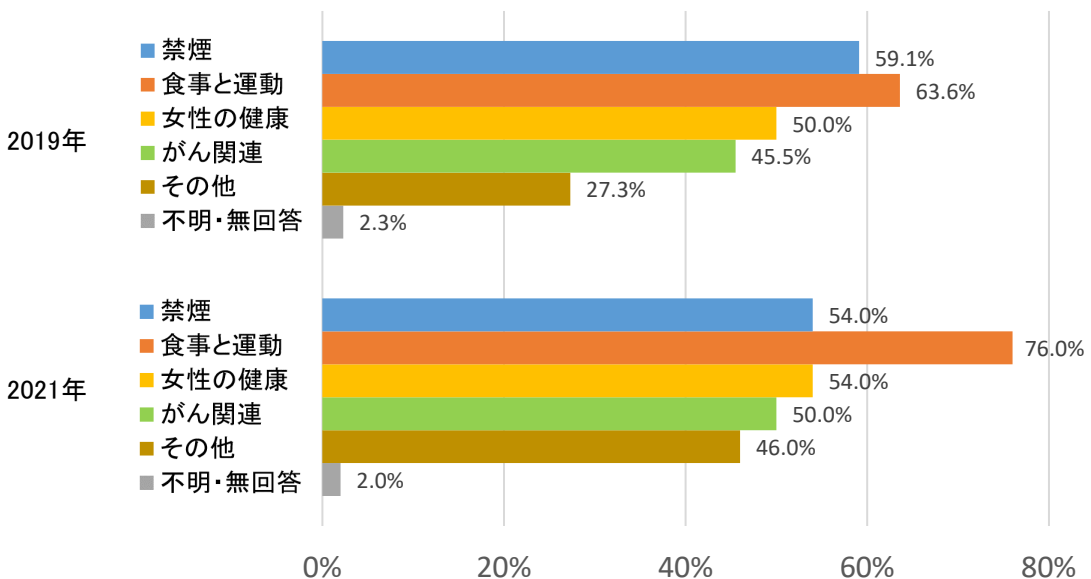
テーマ(複数回答)で特に増加が認められたのは、「食事と運動」で28社(63.6%)から38社(76.0%)に10社増えていました。「女性の健康」22社(50.0%)→27社(54.0%)、「がん関連」20社(45.5%)→25社(50.0%)でした。

2021年には、「新型コロナウイルスについて」「リモートワーク時の健康」「リモート・ヨガ教室」「オンライン健康相談」をテーマに開催したという回答も寄せられました。

健康セミナーを実施しましたか。(n=121)



「健康セミナーを実施した」とお答えの方にお伺いします。どのようなテーマで実施されましたか。あてはまるものすべてお選びください。(2019年:n=44、2021年:n=50)

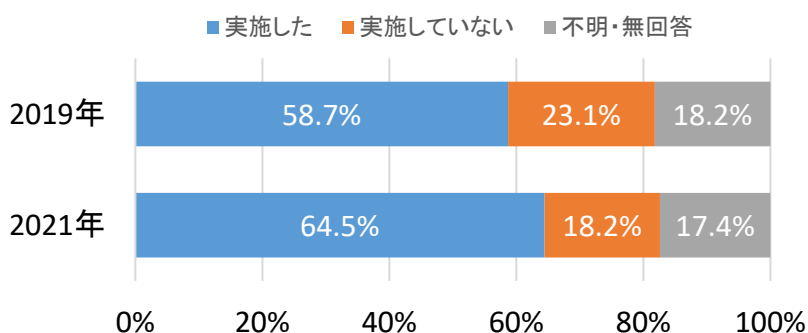


◆健康相談

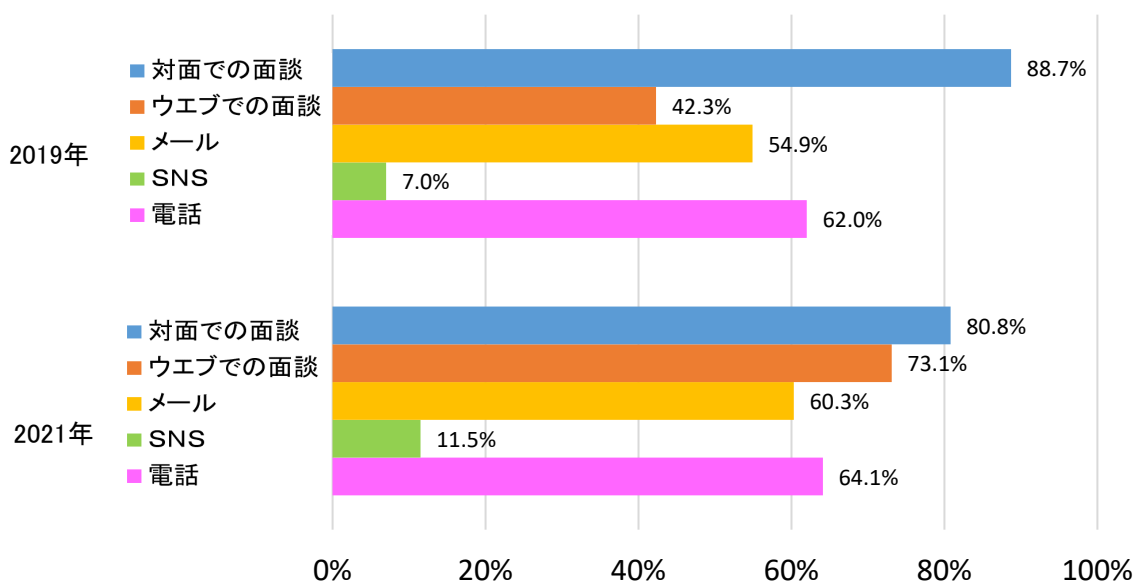
健康相談を「実施した」企業は、2019年の71社(58.7%)から2021年は78社(64.5%)に7社増え、「実施していない」企業は28社(23.1%)から22社(18.2%)に減っていました。

健康相談の開催方法(複数回答)については、ウェブでの面談(オンライン)が30社(42.3%)から57社(73.1%)へ大幅に増え、メールは39社(54.9%)→47社(60.3%)、電話44社(62.0%)→50社(64.1%)、SNSも5社(7.0%)→9社(11.5%)と、それぞれ増えていました。対面での面談(オフライン)が2019、2020年とも8割以上の63社で採用され、企業数は変わりありませんでした。

健康相談を実施しましたか。(n=121)



「健康相談を実施した」とお答えの方にお伺いします。どのような方法で実施されましたか。あてはまるものすべてお選びください。(2019年:n=71、2021年:n=78)

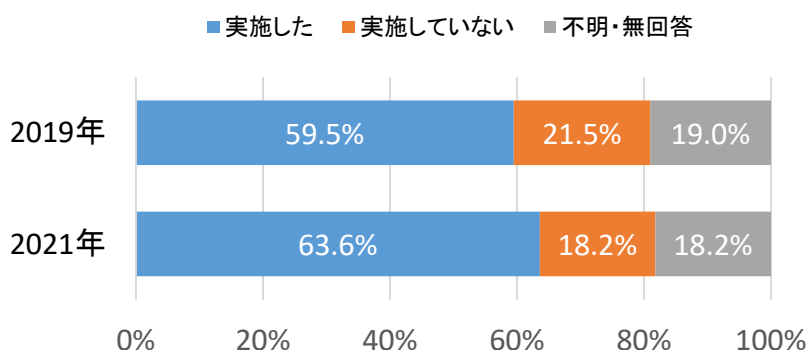


◆保健指導

保健指導を「実施した」企業は、2019年の72社(59.5%)から2021年は77社(63.6%)に増えていました。「実施していない」企業は26社(21.5%)から22社(18.2%)に減っていました。

保険指導の方法(複数回答)については、ウェブでの面談(オンライン)が2019年の23社(31.9%)から2021年は54社(70.1%)と倍以上になっていました。SNSは26社(8.3%)→2021年は11社(14.3%)、電話42社(58.3%)→46社(59.7%)と、それぞれ増加、対面での面談(オフライン)は2019年の62社(86.1%)から2021年は58社(75.3%)に減少していました。

保健指導を実施しましたか。(n=121)



「保健指導を実施した」とお答えの方にお伺いします。どのような方法で実施されましたか。あてはまるものすべてお選びください。(2019年:n=72、2021年:n=77)

